平成 19 年度 **事務事業マネジメントシート** 作成日 平成 19 年 4 月 26 日作成 点検日 平成 19 年 7 月 5 日作成

事務事業名 合生文化会館運営審議会運営事業				□ マニフェスト関連 □ 全庁横				所課題関連 「課題関連			
	政策名	総 合 0	4	んな元気で笑顔	 あふれるまち	づくり ア	属部 教育委員	員会事務局	所属課	人権限	啓発教育課
	施策名	計 画 1	7 人村	権が尊重される	社会づくり	所	「属係 合生文化	比会館	課長名		
	基本事業名	体 系 6	11人村	権活動実践の仮	建進	担	当者名 西川正原	[I]	電話番号	242-	-3218
	予算科目	会計 0 1	款	項 目 事 0 1 1 0 5		沒	卡令根拠				
	● 単年度のみ										
					⊞。期間限定複	数年度事業は	全体像を記述	全体計画(期	間限定複数年	度のみ)	
(事業の内容)合生文化会館運営全般について審議を行う。 (業務の内容)審議会委員の委嘱、審議会開催日時調整、審議会開催通知、審議会資料作成、報酬・費用 弁償支払い事務、審議会会議録作成 (予算の内訳)文化会館運営審議会委員報酬・費用弁償 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 量 人 正規職員従事人数 件件								0			
									人件費計		0
<u></u>	現状把握の部	B(DO)							ルコスト(A)	+(B)	0
1 現状把握の部 (DO) (1) 事務事業の目的と指標 (① 手段(主な活動) 18年度実績(18年度に行った主な活動) 18年度は委員の委嘱を行っていないので、活動していない 19年度計画(19年度に計画している主な活動) 6月に委員の委嘱を行い、年度計画を審議する。 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 文化会館運営審議会委員 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 合生文化会館のよりよい運営や事業推進のために活発な論議が行われる。 ④ 結果(どんな結果に結び付けるのか) 人権を尊重する活動に取り組むようになる。 ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 「フ 「 ○ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 「 ○ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 「 ○ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 「 ○ 放果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 「 ○ 放果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 「 ○ 放果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 「 ○ 対象を述えるが 日本 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
						-	⇒ イ ウ				%
(2)	総事業費·指	標等の	推移	10 F F	4755	10 F #	·	00 F #	\ \^+	÷ '	
			単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年原 (目標		22 年度 (最終目標)
	財 国庫支	支出金	千円 千円			0					
	事源地方		千円 千円								
投入	甲 一般	財源	千円	101	107	0	60	60		60	60
量	事業費計		千円 人	101 1	107	0	60	60		60	60 1
	件 延べ業務	時間	時間	20	20	0	10	10		10	10
	費 人件費計トータルコスト(/		千円	50 151	50 157	0	40 100	40 100		100	40 100
Г		<u>ア</u>	人	12	12	0	12	12		12	12
	活動指標	<u>イ</u> ウ		2回	2回	0	1回	1回		1回	1回
	计会长插	ア	人	12	12	0	12	12		12	12
	対象指標	<u>イ</u> ウ		2回	2回		1回	1回		1回	1回
	成果指標	アイ	人	12 2回	12 2回	0	12 1回	12 1回	 	12 1回	12 1回
	1H IV	<u>イ</u> ウ	1								
	上位成果指標	ア イ ウ	<u>%</u>	12 100	12 100	100	12 100	12 100		12 100	12 100

合志市

人権啓発教育課

事務事業名

	事務事業の環境変化・住民意見	.等 けは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
	生文化文化会館がその目的に沿った	
2	事務事業を取り巻く状況(対象者	「や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
人;	権・同和問題の啓発が進むとともに、、	住民同士の交流も盛んになり、人権・同和問題への理解が深まった。
(3)	この東黎東業に対して関係者(は	主民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
	になし。	ICC、成公、事未刈水石、利吉園原石寺/からこがな思元で安全が司とられているが:
_	証にの如(OFF) ** 原則は東後部	[压
2	評価の部(SEE)*原則は事後計 ①政策体系との整合性	『価、ただし複数年度事業は途中評価 □ 見直し余地がある ⇒【理由】 → ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は市の政策体	■ 結びついている ⇒【理由】人権が尊重される社会づくりのための施設として、目的に沿った事業推進のための審議をするから。
	系に結びつくか?意図することが結	人権が・守里でから任云 うくりのための 地政として、日時に行うた事未非歴のための眷戚をするから。
_	果に結びついているか?	
目的	② 公共関与の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
妥当性	なぜこの事業を市が行わなければ	✓ 妥当である ⇒【理由】 →人権が尊重される社会づくりのための施設として、目的に沿った事業推進のための審議をするから。
	ならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
評価		
	③ 対象・意図の妥当性	見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☑ 適切である ⇒ 【理由】 →
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
	RXC-1/A/L 9 - 1 C / A :	
	④ 成果の向上余地	▼ 向上余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
		□ 向上余地がない ⇒【理由】 う
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準と	より建設的な審議が必要である。
	の差異はないか?何が原因で成果 向上が期待できないのか?	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	□ 影響無 ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
有効	事務事業を廃止・休止した場合の影	▶響有 ⇒【その内容】 ⇒ よりよい事業推進のために必要な審議会である。
性	響の有無とその内容は?	
評価		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携 の可能性	□ 他に手段がある 🗣 (具体的な手段, 事務事業)
	目的を達成するには、この事務事業	
	以外他に方法はないか?類似事業 との統廃合ができるか?類似事業と	▼ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事業がない。
	の連携を図ることにより、成果の向 上が期待できるか?	 □ 他に手段がない ⇒【理由】 ♪
	⑦ 事業費の削減余地	□ 削減余地がある ⇒【理由】 → ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
効率性	成果を下げずに事業費を削減でき	☑ 削減余地がない ⇒【理由】 □ 審議会委員は必要最小限の人数にしている。
	ないか?(仕様や工法の適正化、住 民の協力など)	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	□ 削減余地がある ⇒【理由】 → ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ▼ 削減余地がない ⇒【理由】 →
	やり方を工夫して延べ業務時間を削	19年度から、審議会の開催を、これまでの2回から1回にした。
	減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできな	
	いか?(アウトソーシングなど)	
公亚	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	見直し余地がある ⇒【理由】 つ ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ✓ 公平・公正である ⇒【理由】 つ
平 性	事業の内容が一部の受益者に偏っ	対象・意図とも現状で適切である。
評価	ていて不公平ではないか?受益者 負担が公平・公正になっているか?	

事務事業名	合生文化会館運営審護	義会運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
	と今後の方向性(次年度	計画と予算への反映				
(1) 1次評価者として(_	=			対は住民の	要望等を把握した上で、合生
】 目的妥当性 	☑ 適切	□ 見直し余地あり)	文化会館としてどんた 議を深める。	よ事業を推	進しなければならないかの論
② 有効性	□ 適切	☑ 見直し余地あり	, †			
③ 効率性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	' '			
④ 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	ı			
(3) 今後の事業の方 □ 廃止 □ 休止	句性(改革改善案)・・・ □ 目的再設定 □		☑ 事業	のやり方改善(有効性改		4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要)
事業のやり方改善(効率性改善 🔲 事業	のやり方改善(公平性	改善)			コスト
	で特に改革改善をしない) 地域住民の要望等を把握	とした上で、合生文化	会館とし	てどんな事業を推進し	なけ	*
ればならないかの論語		7, 12, 10		10.00,7%(0,7%(0,7%)		
						成維 果持
						低 下 × ×
	見する上で解決すべき課 ・体的な情報(地域住日			かがら 話し合いをと	焦めろ	
田城五女兵 少六	一十十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十	スッタ王 #	- 1)E/1.C		E v > 00	
L _4 事務事業の2次記	评価結果					
(1) 1次評価結果の客		おいかった。				
□ 記述水準(1次)	評価の記述内容を読んだ わかりにくい	に段陌で迭択)				
□ 一部記述不 □ 記述は十分	足のところがある					
	水準(2次評価を行った役 いており評価が偏ってい			重が認識されてない)		
□ 一部に客観	性を欠いたところがある					
(2) 2次評価者として(<u>価となっている(事務事</u> の評価結果	来の问起点、		じている) 3)評価結果の根拠と5	里由	
① 目的妥当性	□ 適切	□ 見直し余地あり	ı			
② 有効性	□ 適切	□ 見直し余地あり	,			
③ 効率性	□ 適切	□ 見直し余地あり	常			
④ 公平性	□適切	□ 見直し余地あり				
(4) 今後の事業の万 □ 廃止 □ 休止	句性(改革改善案)・・・ □ 目的再設定 □		□ 事業	のやり方改善(有効性改		5)改革·改善による期待成果 廃止·休止の場合は記入不要)
□ 事業のやり方改善(効率性改善 🔲 事業	のやり方改善(公平性)				↑. コスト
_ 現状維持(征米通り 	で特に改革改善をしない)					┃ ❖❖↓削減┃維持┃増加 ┃向┃
						上
						成維 果持
						低 下 × ×
(6) その他2次評価会 	議で指摘された事項					